

生命（いのち）の安全教育 岩国総合支援学校 高等部

授業概要

授業名	大切な心と体の変化 / 心と体の守り方
学習形態	高等部全学年一斉授業（同時開催）
指導者等	T 1：保健体育科教員 T 2：各学年所属全教員
内容	「生命（いのち）の安全教育（中学生用）」を基に、生徒の実態や特性等踏まえ資料を補足修正し、「心と体の変化」「心と体の守り方（距離の取り方、SNSの使い方を含む）」について学習する。

教材等の概要

使用教材	「生命（いのち）の安全教育（中学生用）」を基にした教材 生徒対象の事前・事後アンケート
準備物	スライド提示用パソコン、大型テレビ、スライド資料、ワークシート
留意事項等	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じてワークシートを2種類用意する。 ロールプレイを実施し、より実践的に学習活動を展開する。 話を聞くだけにならないように、考える時間や生徒の意見を聞く時間を多く設定する。 授業の約束として、他の人のプリントはのぞき込んで見ないこととする。

指導を通して得られた効果等

授業の前後で生徒を対象としたアンケートを行った。アンケート内容《抜粋》および結果は、以下の通りである。

	「はい」の割合	
	【授業前】	【授業後】
1. 自分や他人の体を大切にするための方法を知っていますか。	30%	68%
2. 性暴力にあいそうになったときの対処法を知っていますか。	30%	66%
3. 友人と一緒に写っている写真をSNSに載せてよいと思いますか。	16%	18%

アンケート1, 2について、授業の効果を感じるとともに、3については、思うような効果につながらなかった。今後は、生徒一人ひとりの特性を踏まえながら、具体的・継続的な学習活動を展開し、安全教育や性に関する指導、特にSNSの使い方については生徒自身が加害者、被害者、傍観者にならないための教育活動を日常的に展開し、理解を深めていきたい。

生命（いのち）の安全教育 授業の展開

教科・領域等	特別活動	学部・学年	高等部・全学年
授業名	大切な心と体の変化／心と体の守り方		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が現在の生活を振り返り、安全な生活づくりにつなげるきっかけをつくる。 ・現在及び将来の生活における社会生活上のルールを知り、社会性の向上を図る。 ・学年に所属する全教員のかかわりを通して、配慮が必要な生徒への対応を共通理解し、生徒の心の変化等へ寄り添う。 		
学習活動		指導上の留意点等	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「本時の内容、目標」「授業の約束」の確認をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 個人の情報に関わる内容のワークシートがあるため、お互いのシートを見ないことを約束して授業を開始する。 ➤ 「心の変化」と「体と心を守る」2点について学ぶことを意識できるよう説明をする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● こころの変化について考える。 ・「悩み」の有無についてワークシートに記入する。 ・「悩み」の内容について選択、または自由記述する。 ・「好きな人」について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 回答しやすいように、ワークシートには選択肢を設定する。 ➤ 必要に応じて近くの教員と一緒に考える。 ➤ 無理のない範囲で記入させる。 ➤ 対象がいない場合は「気になる人、仲の良い人」も可とする。 ➤ 「悩みが増えること」「気になる人への関心の高まり」は自然なことであることを伝える。 ➤ 「心」の変化（感情が複雑になっている）は子どもから大人になっている証であることを伝える。 	

<ul style="list-style-type: none"> ● 体と心を守るについて考える。 ・「自分と相手を守る」ことが連想できるような言葉を考え、ワークシートに記入する。 ・「距離」という言葉が出たら、「体の距離」と「心の距離」の2種類があることを確認する。 <p>① からだの距離</p> <ul style="list-style-type: none"> ・距離の種類「近い」「腕一本分」「遠い」について確認する。 ・隣の生徒と3種類の距離を確認する。 ・日ごろ接する人との、3種類の体の距離について、ワークシートに記入する。 <p>② こころの距離について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心にも距離があることを知る。 ・「いやだ」と感じたら「いやだ」と言って良いことを知る。 ・相手の「いや」を受け入れることを知る。 ・生徒同士でロールプレイを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 人によって違うこと、近寄られることが嫌だと思ふ人もいることを伝える。 ※教員がロールプレイを行う。 ➤ 考えやすいよう回答例を示す。 ➤ 人によって感じ方が異なること、近寄られることを嫌がる人もいることを再確認する。 ➤ 心の距離について、ワークシート「好きな人」も活用する。 ➤ 相手と自分がいつも同じ気持ちとは限らないこと、心にも距離があることを伝える。 ➤ イメージがしやすいよう、教員でロールプレイを行う。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「性暴力」について考える。 ・具体例を通して、性暴力についてイメージをもつ。 ・「体に触る」「体に触らない」2種類の性暴力があることを知る。 ・画像等を「送ること」、「送らせること」はどちらも許されない行動であることを知る。 ・インターネット（SNS含む）へのルールについて知る。 ・困ったときの対応方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ スライドに具体例を示し、状況を一緒に考え、許されない行為であることを伝える。 ➤ 男女関係なく起こる場合があることを伝える。 ➤ 相談相手について生徒数名に具体的に回答させることで、対応方法について全体で確認できるようにする。

<ul style="list-style-type: none"> ・性暴力についてのまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 被害にあっても自分をせめないことを確認する。 ➤ 相談することの大切さを確認する。
<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な事例について考える。 ・失敗の原因について考え、ワークシートに記入する。 ・その理由について考える。 ・近くの生徒と一緒に考えてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ SNSについて細かな説明は避ける。 ➤ 必要に応じて説明を加える。 ➤ 考えがまとまらず記入できない場合、スライドの回答例を記入することを認める。
<ul style="list-style-type: none"> ● インターネット上にのせることが望ましくないものについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「友だちとの写真」を載せることは、嫌がる人がいる場合があることを伝える。 ➤ その他についても「個人情報流失」する可能性があることに触れる。
<ul style="list-style-type: none"> ● 授業のまとめをする。 ・本授業で学んだこと端的に振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ○性被害にあったときに、自分を責めないこと ○相談先を覚えておくこと ○人との付き合い方には距離があること ○いやな時は「いや」と言うこと。また言われたときは受け入れること ○SNS等インターネットには、個人情報をのせないこと、送らせないこと ・印象に残ったことを書き記す。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在困っている人がいたら、相談できるように配慮する。 ➤ 今後ワークシートを見て、学習したことを思い出しやすいよう、ワークシートの1枚目に記入する欄を設ける。 ➤ 書き記すことが、難しい生徒は、下のイラストに○を付けたり、絵にしたりしても良いことを伝える。